

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成30年12月20日 (2018.12.20)

【公開番号】特開2017-87590(P2017-87590A)

【公開日】平成29年5月25日 (2017.5.25)

【年通号数】公開・登録公報2017-019

【出願番号】特願2015-221389(P2015-221389)

【国際特許分類】

B 4 1 J 29/38 (2006.01)

G 0 3 G 21/00 (2006.01)

H 0 2 M 3/00 (2006.01)

G 0 6 F 1/28 (2006.01)

H 0 4 N 1/00 (2006.01)

【 F I 】

B 4 1 J 29/38 D

G 0 3 G 21/00 3 9 8

G 0 3 G 21/00 5 0 0

H 0 2 M 3/00 C

G 0 6 F 1/28 A

H 0 4 N 1/00 C

【手続補正書】

【提出日】平成30年11月9日 (2018.11.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 2】

画像形成に関するデータを記憶する揮発性の第一記憶手段と、
前記データが退避される不揮発性の第二記憶手段と、
二本の電源ラインを介して交流電源から供給される交流電圧を直流電圧に変換する変換手段と、

前記二本の電源ライン間に接続された容量素子と、
前記変換手段から出力される直流電圧を供給され、前記第一記憶手段に記憶されている
前記データに基づき画像を形成する画像形成手段と、
前記交流電源の停電を検出する検出手段と、
前記検出手段が前記交流電源の停電を検出すると、前記第一記憶手段に記憶されている
前記データを前記第二記憶手段に退避する退避手段と
を有し、

前記検出手段は、
前記交流電源から供給される交流電圧のゼロクロスを検知して検知信号を出力する
検知手段と、

前記検知信号の立ち下りエッジを起点とした第一経過時間を計測する第一計測手段
と、

前記検知信号の立ち上りエッジを起点とした第二経過時間を計測する第二計測手段
と、

前記第一計測手段により計測された前記第一経過時間が第一閾値以上であるか、ま
たは、前記第二計測手段により計測された前記第二経過時間が前記第一閾値よりも長い第

二閾値以上であれば、前記交流電源の停電が発生したと判定する判定手段とを有することを特徴とする画像形成装置。